

森本薫 劇作家。明治四十五年六月四日大阪生れ。昭和二十一年十月六日没（九二一四六）。筆名田中寛一。第二高等學校を経て、昭和十一年京都帝國大學文學部英文科卒。（高時代から劇作、十六年文學座の座附き作者となる。二十年初演の「女の一生」は杉村春子の當り役として有名。

著書、戯曲集『わが家』（昭和十六年六月五日墨水社）、『劇作十四人集』（合著・菅原亨編、昭和十六年七月十八日白水社）、放送戯曲集『生れた土地』（昭和十七年七月十九日書物展望社）、『放蕩』（昭和十九年七月十五日小山書店）、『學新編』（『女の一生』（昭和二十一年十月十五日明社『文藝叢書』）、『森本薫戯曲集』（『華々しき一族』（昭和二十二年十一月二十五日、再刊、二十二年十一月十五日、『女の一生』（二十二年一月二十日、Ⅱ『薔薇』（五月二十日京都・世界文學社）、『女の一生』（昭和二十七年二月二十七日笠書房）、『笠文庫』）、『森本薫全集・第一巻』（昭和二十七年八月一日京都・世界文學社）、『新選現代戯曲・第二巻』（合著、昭和二十七年十月二十日河出書房）、『日本現代戯曲集・Ⅱ』（合著・岩田尊雄編、昭和二十八年十一月十五日新潮社『新潮文庫』）等。

